

# 夏休みジュニア裁判員裁判

## 開催報告

8月9日、小学6年生～中学3年生を対象にした夏休み特別企画「ジュニア裁判員裁判」を開催しました！**本物の裁判官・検察官・弁護士**とチームになって、作戦を考え、裁判を進めていくこの企画。当日のそれぞれのチームの熱い様子をお伝えします！

### 《アイスブレイク》

模擬裁判のスタートの前に、本日の裁判の流れと、チームワークを高めるためのチーム対抗3択クイズを行いました。

この戦いは、裁判所チームの勝利！  
模擬裁判の前に盛り上がりました。



**（事件概要）** 鹿児島市山下町の白くまコンビニエンスストアにて強盗事件が発生した。その際、けがを負った店員鈴木二郎と逃げるバイクを目撃した近くに住む田中花子の目撃証言をもとに佐藤進が被疑者として逮捕された。被疑者は、容疑を否認している。

### 《模擬裁判スタート》

まずは、検察官において、被告人が起訴された理由を説明し、裁判官が被告人に意見を聞きます。

**被告人「全然違います。私はやっていません！」**

被告人は、犯行を否認しました。

これから、いろいろな証拠や証言を基に、裁判が進みます。



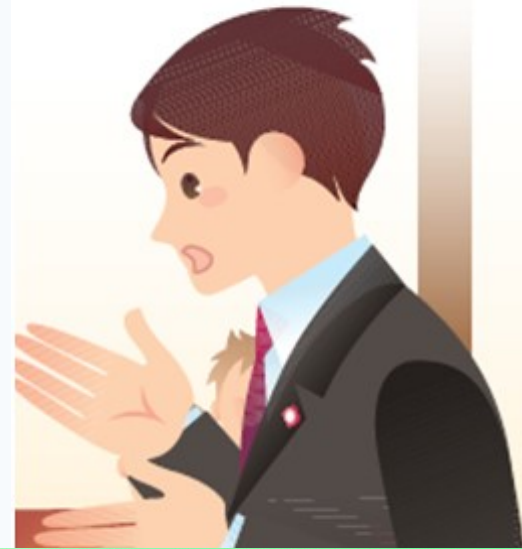
# 《各チームの様子》

誤判を許さない

## 弁護士



## 被害者のために 検察官



真実を見極める

## 裁判官



## 《判決》

裁判官の判決は・・・

**被告人は無罪！**



## 《修了証授与》

最後に、がんばった皆さん全員に修了証が授与されました。

その他にも、裁判官席で法服を着ての記念撮影や、いつもは会えない本物の裁判官・検察官・弁護士への質問等、大盛況のうちに今回のイベントは幕を閉じました。



## 《参加者の感想》

### 【子】

- ・法服を着ることが出来て嬉しかった。判断することがとても難しかった。
- ・とても楽しくて、面白かったし、勉強になりました。次回があったら、また参加したいです。
- ・検察官と弁護士では、事件の見方が全然違うなあと思いました。

### 【親】

- ・子供たちの必死に物事を見極めようとする姿勢に感心しました。親としては、小さな矛盾を見落としとしていく様に、もどかしさも感じましたが、この経験を通して、新しい興味のきっかけになれば嬉しいです。こういった経験ができたことをうらやましく思いました。
- ・刑事裁判の流れがよく分かる内容のある4時間でした。参加できて、本当に良かったです。ありがとうございました。
- ・別の立場になった時は、どんな判断をするのか、体験させてみたいと思いました。

このイベントが、皆さんが裁判員裁判や裁判所に興味を持つきっかけとなれば幸いです。

裁判はだれでも傍聴できますので、興味のある方は裁判所にお越しください。

参加して下さった皆さん、どうもありがとうございました。